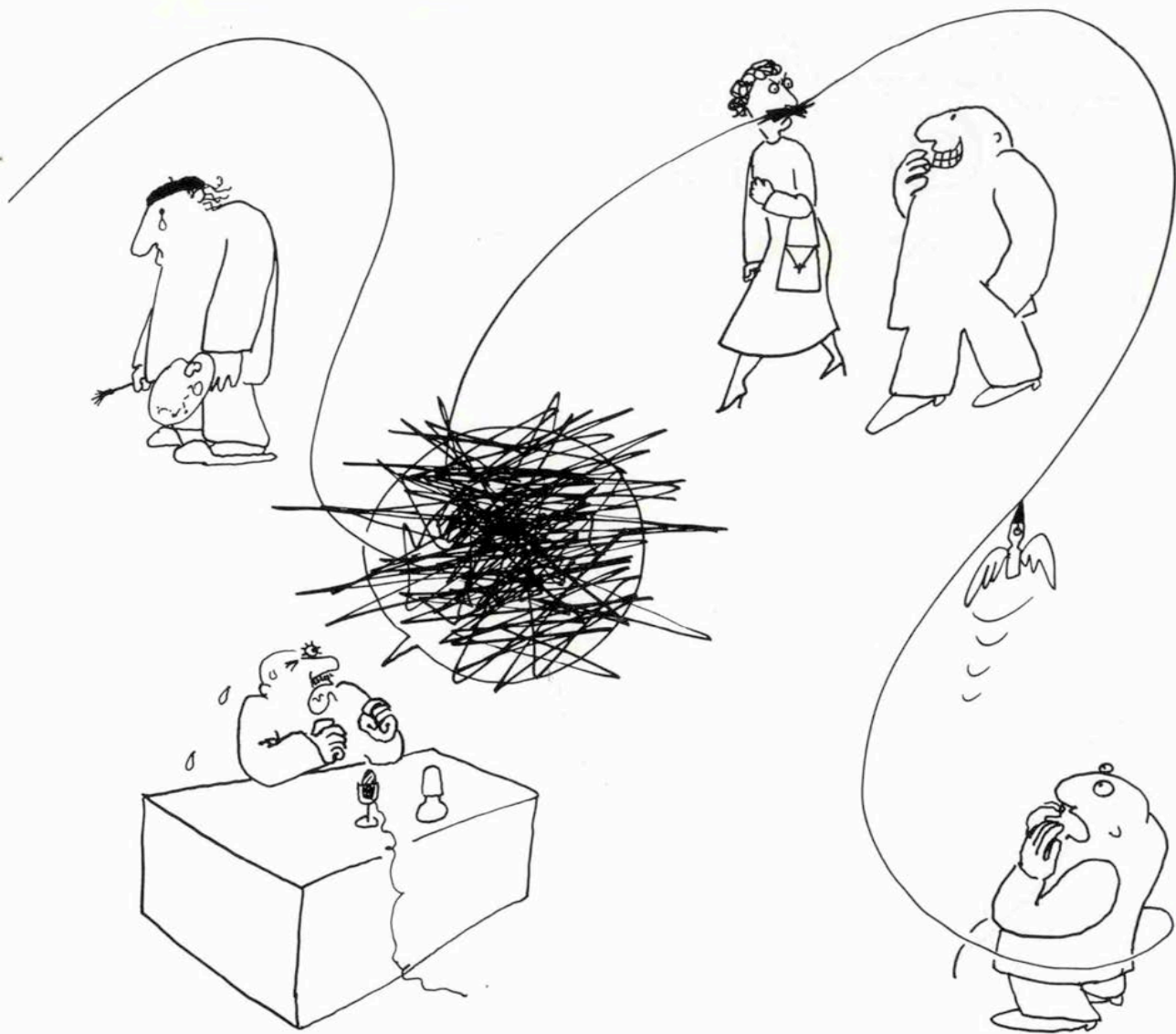


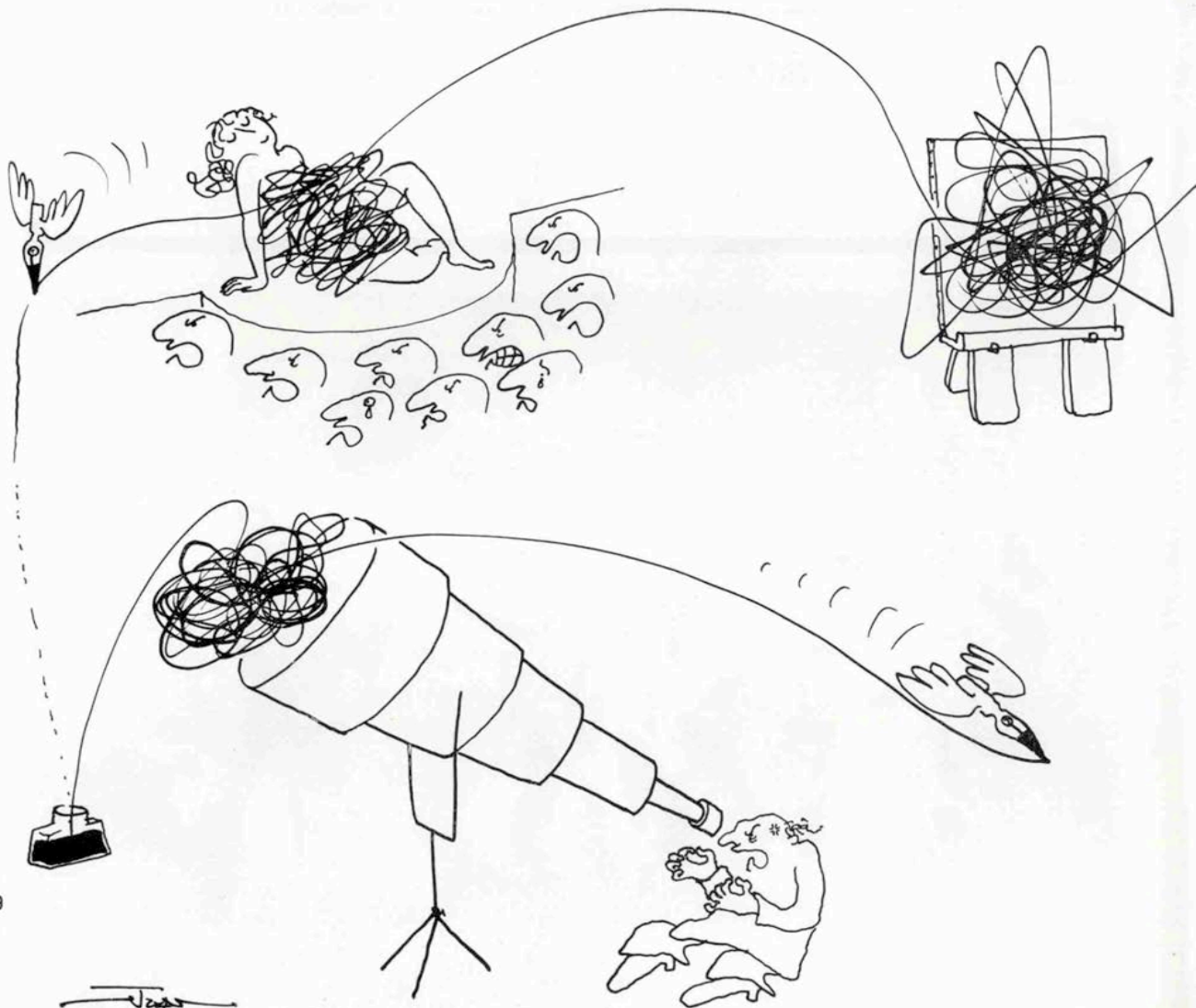
# アンデル線

VOL.1 ペン鳥

岡田 淳









動物園飼育日記 — 92 — 亀井一成



ないしょ話シリーズ<13> <sup>はがね</sup>鋼というトラの子





えものを襲って捕食する。『攻撃タイプ』のトラやヒョウは耳は短く直立し、しかも『前方』に鋭く向き、聴力、視力、嗅覚と能力のすべてを集中させる。

野性ところが動物園となれば、ちらつと我々の姿が見えたら、一度は首をもちあげ警戒するものの、危くない相手だと分れば、むしろこちらに歩み寄ってくるのが、キリンやシマウマなど草食動物である。

それにひきかえ、やはりトラやヒョウは、さつと擬木や岩かげに低く隠れながら、ビタリ視線をこちらに向け続け、さらに近づく我々に二度三度、場所を変えながら



猛獣トラの子も動物園育ちだと、てんでだらしない

あとずさり、ずっと身がまえ続けるのである。しかも限界距離に達したその瞬間、猛然と耳を引き裂くような吠え声をあげおどろかかってきた。

実はこれが二十年前、つまり開園当時輸入された野性育ちの猛獣たち、なかでもことのほか猛々しかったのがトラであった。

その荒々しさは自由を奪われたことへの怒りなのか、とにかく部屋の鉄格子にはトラの手が出ないよう金網を重ね張りしていいないと危くて作業ができない。しかも餌を与えようが、見向きもせず、片隅でじっと身がまえたまま唸り続けた。それに発情期を迎えても、その行動は眼に触れることなく夜間にすまされており、交尾の確認がことのほか難しかった。しかし十九歳で老衰死するまでに七産十二頭の子を産み、次々と人手をかりず『母乳』で育てたのである。

それがどうだろう。世代が移り、二代目に当る現在のトラ夫婦は昭和四十三年ニューヨーク動物園生れ、生後四カ月で神戸へやってきたが、アメリカ産人工育ちとあって、まるで飼いネコ同然、ヒトさえ見れば二百キロの図体をすり寄せてくる。しかも、ネコに似たあの親愛の情をあらわす声といおうか、『ウフツ』とイキをふきかけてくるのである。それに、家畜化してしまっただけに見える彼等は、発情期を迎えても日中堂々、入園者の目前といわず室内と、ところかまわずそのいとなみを見せる。おかげで懐妊期間百九日という予定日を待ちかまえて世話することができるようになった。

しかしである。肝心の育児ができない

い。我が子を産みつばなし。乳探りには回る子を鼻で嗅ぐだけ、さつさとオス親の元に走りよるメス親である。最近二度目の出産があったが、これまた人工育児。我々の手でトラの子を育てなければならなかった。しかも、そのトラの子が初産のときのように一頭、つまりひとりっ子となると、なおさら野生から遠のく。

三時間おき、ゴムの乳首の哺乳から、綿花をぬるま湯に浸して排便させるという育児。それに布切れや人間の手足にからみつく遊びでは、トラ本来の「勇ましさ」を学習できないのである。それにもかかわらず、生後三カ月、ちょうどスピッツぐらい、肉を食べはじめやつと可愛くなった頃、他の動物園に売られて行くことが多い。



動物園育ちのトラは子供を生んでも育てようとしないので、我々の手で人工育児

「餌代がかさむ」いや「成獣となれば親子で死闘をやらす」、「ひろく各地の子供たちにも見せてやりたい」という動物園の事情から、この人育ちの初産の子、ひとりっ子、オス、鋼<sup>はがね</sup>ちゃん。もまた送り出さねばならない日がやってきたのである。

そこで私は育ての親としての責任といおうか、こんな「肉体の特訓」をはじめた。この鋼ちゃんの両親がまたニューヨーク生れの過保護トラとあって、キバをむき、あのすごい形相で吠えつくことを知らない。生餌としてウサギを与えても咬み殺すすべを知らない。くる病の子が生れては、と懐妊のさなか食べさせようとしても、そのウサギと枕をならべて眠っている始末だった。その親の子である、鋼<sup>はがね</sup>がまた、ニワトリやウサギが動きだすと慌てふためき、私にむかって逃げ戻ってくる。「いや、どうせ動物交換で送り出すのだから、もうそのままではええやないか」という説。「べつにそこまでせんでもほつといたら咬むようになる」という意見の多いなか、私は、我々の事務室の一隅で育った、この「鋼ちゃん」を鉄格子檻に入れそれを親やライオン、ヒグマの住む猛獣舎に運びこみ住まわせることにした。つまり、たとえ鉄格子を挟もうが、あの威かくの吠え声や深夜の猛獣舎での生活。餌どきにむきだす親や隣室のライオンのもつ猛獣らしい形相を受けて立ちあがる、そんな「鋼」にしてやりたかったのである。それが、親代りである我々の責任であろう。その願いをこめて「鋼」という名前にしたのでから……。そして一カ月、あのひ弱かった「鋼」は人間の親である私から遠くなった。これまでのように首輪をかけ、クサリで園内を連れ歩くなど危い。鋭いキバと鉤爪をトラ本来の「武器」として使いはじめたのだ。そして送り出す最後の日、積みこまれたトラックから、ひとりっ子の「鋼」は何時までも何時までも私に視線を向けながら、遠くへ旅だって行ったのである。

〈王子動物園学芸員／写真も〉



# 美術 骨董 古 剣 刀 画 書



萌葱色本絨当世具足（江戸初期）¥2,000,000<右>  
素掛絨彦根藩赤鎧（桃山時代）¥2,200,000<左>

鑑定 買入  
研 白鞘 拵 御承処

神戸市生田区元町通6丁目25番地

刀 剣  
古 美  
骨 術  
董

元町美術

〒650

TEL078-351-0081

あけまして  
おめでとうございます

昭和四十九年 元旦



メガネの

モリカワ

大阪店・**モリカワ** 4F・神戸店・三宮 **さんフラサ** 1F

TEL 06(361)7040

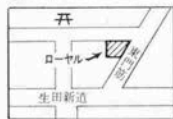
TEL 078(391)0383

A HAPPY NEW YEAR

ホームメイドの味



ローヤルのケーキ



神戸三宮生田東門筋  
TEL. 331-5628

あけまして おめでとう ございます

TEA FOR TWO



WITH LOVE



鐘で飲む珈琲は青春の味がする

珈琲処

鐘

舞合区坂口通7の2 TEL (241) 9106





# ★神戸の集いから

★気合がかった「五人展」

新鋭気鋭の画家五人が競う「具象人間五人展」が、元町画廊で十一月二十日～十二月二日まで開かれた。安井賞作家の西村功、鴨居玲、中西勝に、金山賞の松本宏、そして河野通紀の五人で、三月にはヨーロッパへ旅立つ西村功のマイペースの人間追求ぶり、スペイン帰りの鴨居玲の弱い人間への執拗な愛着ぶり、地に根をはるようなモロッコ帰りの中西勝の母子の姿。幻想的な人間のエロスを描く松本宏、透明な物体の緊張感が心に残る河野通紀の絵。神戸の風土が育てた画家の真摯な息づかいを感じた。



右から中西、河野、陳、西村、鴨居、松本画伯のみなさん

●糸平の個展成功と祝い励す会

水墨画でバリ、ニューヨーク個展を開いた鎌田糸平さんが帰国。彼のながいあいだの苦勞がみられたと喜ぶ友人一同が、気をゆるめずさらに研鑽をと、気合いを入れる「個展の成功を祝い、新しい出発を励ます会」が、十二月四日午後6時30分から、神戸貿易センタービル十六階で開かれ、約一五〇名近い先輩、友人が集った。春木一夫さんの司会で、共に旅をした神戸大学の則武教授や作家の白川渥、白鶴美術館の青木重雄さん、俳人の赤尾兜子さんをはじめ、神戸ローンテナスクラブの人達も交り多彩な集いだった。



鎌田糸平さん（右から二人目）を励す会

●神戸フラワー協会発表会パーティ

十二月三日神戸国際会館5階ホールで、神戸で活躍するアートフラワーや、フラワーデザインの自由な交流機関をつくらうと「神戸フラワー協会」が発会。会員は、石田睦子、重近昌子、庵原江い子、大野トキ子、岡村多津、滝原美枝子、多田百合恵、長浜律子、西田喜代子、馬場剛子、藤井喜久子、藤原久子、松井喜代子、田中敬子、綿貫吏沙、生駒紀美、松田英子、山下桃彩の皆さんで、作品発表もかねての発会式は詩人の君本昌久さんが司会でまとめファッション都市KOBÉにふさわしいスタートぶりだった。

下は神戸フラワー協会員のメンバー紹介



白い冬、あのぬくもりを今も…



婦人帽子

**マキシン**

マキシンの帽子のおもめは全国有名百貨店でどうぞ

神戸・トアロード 東京・銀座3-2

TEL(078)331-6711~3 TEL (03) 535-5041

冬將軍だってアタシの家来



顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

**服部メガネ店**

神戸・大丸前 TEL331-1123



*A Happy New Year*



永遠の美しさ 女らしさを求めて  
セリザワの新しい年は始まる……  
今年もあなただけの  
ニューファッションを創ります



EXTEND IMPERIAL FASHION

**SERIZAWA**

本店＝神戸市生田区三宮町 3 - 18



コートの手は、もう春。  
 足元も軽くな。今年は何かにいいとめをしよう。



写真提供 / WORLD CO. LTD.

# スギヤ

三宮町 3-15  
 TEL 078(331)3436

■六甲店 阪急六甲ファミリースタ内  
 078(871)2732  
 ■東京店 池袋バルコ地下1階  
 03(987)0567  
 ■梅田店 阪急三番街地下1階  
 06(372)4877

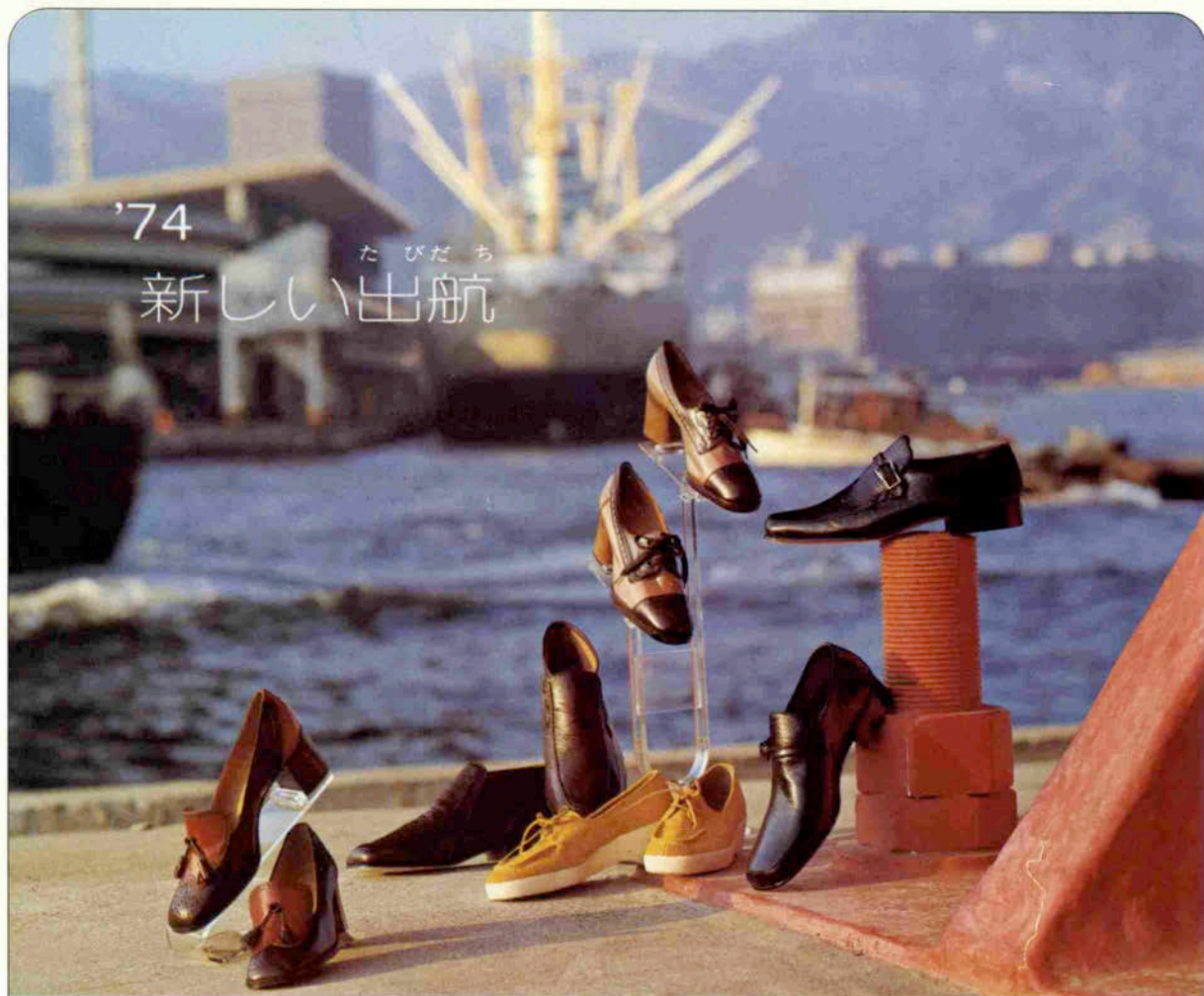
■宝塚店 阪急宝塚ファミリースタ内  
 0797(71)5033  
 ■阪急神戸店 阪急百貨店神戸支店1階  
 078(321)3521  
 ■心斎橋店 心斎橋バルコ3階  
 06(245)1316

■芦屋川店 阪急芦屋川ファミリースタ内  
 0797(31)8193

'74

たびだち

新しい出航



本格派の人々に  
愛される  
ヨシオカの靴

★靴のオーダーメイド

**ヨシオカ**

神戸大丸前 TEL 331-5190  
東京・東急渋谷 TEL 462-3436  
東急日本橋 TEL 221-0511  
バルコ池袋 TEL 987-0577



A Happy New Year

# ネクタイは男の勲章



ミリタリーシリーズ <5>  
1808年フランス第7軽騎兵連隊



ネクタイの

## 元町バザー

神戸元町1番街  
TEL331-7031  
東京 東急百貨店  
渋谷本店/日本橋店



ペロ  
<ドイツ>

PURE SILK  
**John Gorton**  
LONDON-ENGLAND

J・コシフォート  
<イギリス>



ORIGINAL LACO  
Reine Seide

ラコ  
<ドイツ>

Guy Dormeuil  
PARIS

ギードーメル  
<フランス>

**POROS**  
COMO ITALY

ポロス  
<イタリア>

*Passion*  
**Pinot Cesti**

ピットリオ  
<イタリア>



# 賀正

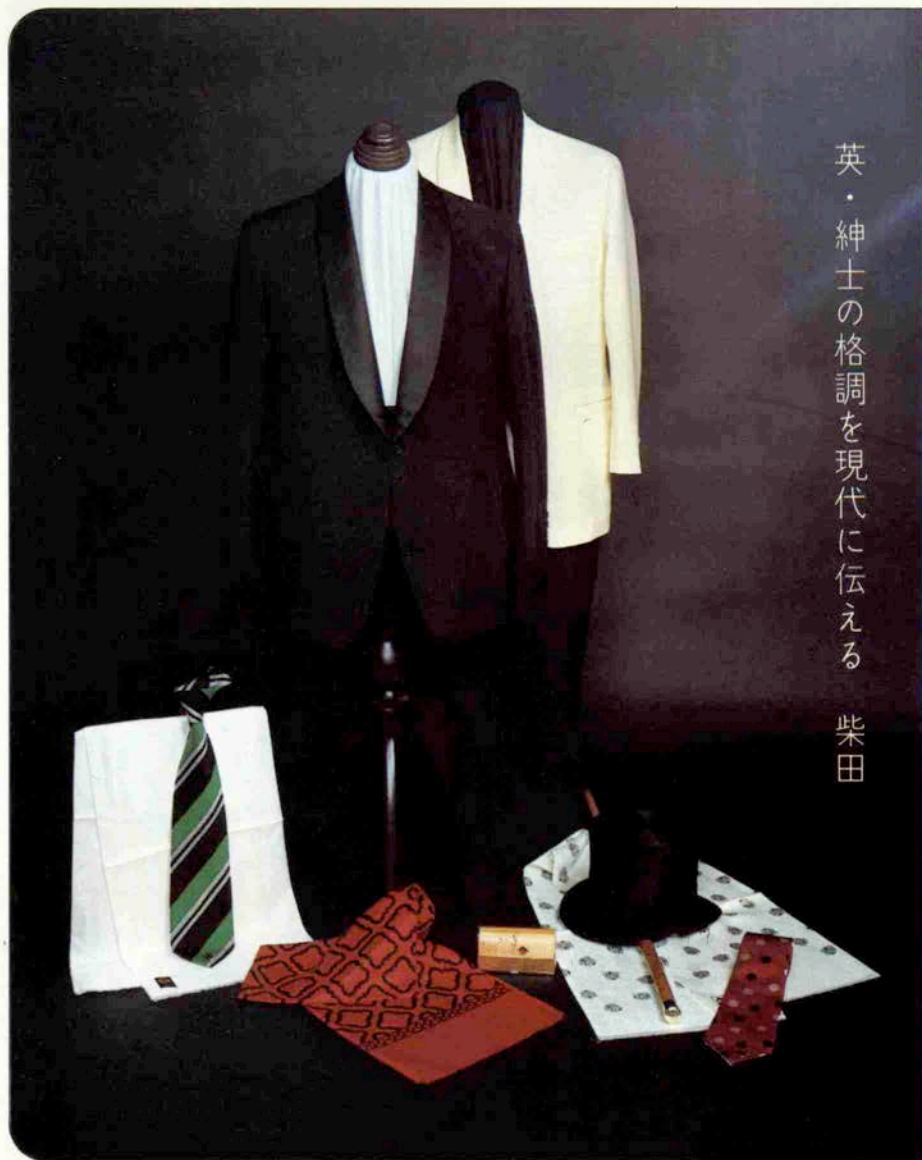


柴田音吉洋服店

大阪・高麗橋三丁目  
神戸・元町四丁目南

☎三三一一二〇六  
☎三四一〇六九三

英・紳士の格調を現代に伝える 柴田



不二屋の大阪店

MAPLE FUJIYA が  
開店 1 周年を迎えました。

皆様のお引立てを賜りました  
おかげで、ますますバラエティに  
富んだインテリア・サロンに発展  
しております。新しい年1974年も  
よろしく願います。



謹 賀 新 年

昭和49年

元 旦



リビングづくりのアドバイザー

MAPLE FUJIYA

大阪市北区芝田町55・阪急の〜る街  
(梅田・新阪急ホテル・北隣—北阪急ビル1F)  
TEL (06) 373-0521(代)



本社  
株式  
会社

不二屋

本社 神戸市生田区三宮町3-5  
TEL (078) 391-0535(代)  
工場 神戸市垂水区多聞町小東山975  
TEL (078) 706-5914

# 虎年は男の世界



boutique

ア-キ-キ-

神戸店  
大阪店

大丸前山側角 ☎ (078) 331-7857

ミナミ地下街紅のまちボタン通り ☎ (06) 213-6158



## 新しい街に集いしよう

1月のインタビュー／小菅根利子さん〈主婦〉



DAIMARU  
もとまち  
TEL 07813318121(代)

## サロン・ド・グウ 4Fをたずねて

時を惜しまず 妥協を許さない クラフトマンシップから生まれた世界の一流品の数々。本物のよさが味わえるこのコーナーは 大丸の顔として 格調高い 心豊かになるサロンです。

あけましておめでとうございます。増築も完成し新しいまち大丸も、すっかり皆様に親しんでいただけたことと思います。本年もお客様第一の明るく親しめる大丸に——と張り切っておりますので、どうぞよろしく。とあいさつされるのは婦人雑貨部担当部長の長谷川啓一郎さん。元ファッションモデルで大丸ともなじみの深い小曽根利子さんと、話がはずみます。

**小曽根** 新春のひきしまった気分、サロン・ド・グウのような素晴らしいコーナーを訪れると、とても心ゆたかになりますね。

**長谷川** 昨秋の改装で、南欧調に白くまとめたんです。だから以前より広広と感じると、皆様から好評をいただいております。大丸の顔として、より格調高く思っているんですよ。

**小曽根** ずっと買いやすくなったと思いますわ。以前よりも、入りやすくなったというのかしら。

**長谷川** いいものを置く。ジョージ・ジェンセン（F）でアクセサリを選ぶ小曽根さん。には、器も大事ですからね。洋服、貴金属、家具、高級雑貨など一品ものを中心に置いているんですよ。やはり、ヨーロッパには伝統的によいものがありますから。

**小曽根** 新築や結婚の贈りものにもいいですね。

**長谷川** お一人では、ちょっと高いかな？という方もグループでお買上げになる、そんなケースが増えております。いいものというのは、取り扱いも丁寧になりますし、何よりも長もちしますね。陶器でしたらウェッジウッド（英）、ドレスデン（独）、ボワイエ（仏）と超一流品を揃えております。また、増築



して初めてマイセン磁器（東独）も置きました。

**小曽根** 家具も素晴らしいですね。

**長谷川** ツーラ社（伊）のですね。これは木に皮を重ね、その上を樹脂加工しているんです。色はグリーン、赤、タバコ色とあります。ジョバンニ社のこの家具は、土台になっている地の木と、花模様の木が違ふんです。填め込みになっているんですが、それが全然わからないですね。すべて手づくりで、名人たちがコツコツと作りあげたものだから、孫子の代までも……というやつですよ。

**小曽根** 本物を見ることが何よりも物を見る眼を養ってくれると思います。こういうものに囲まれていたら全部はしくなってしまうわ。

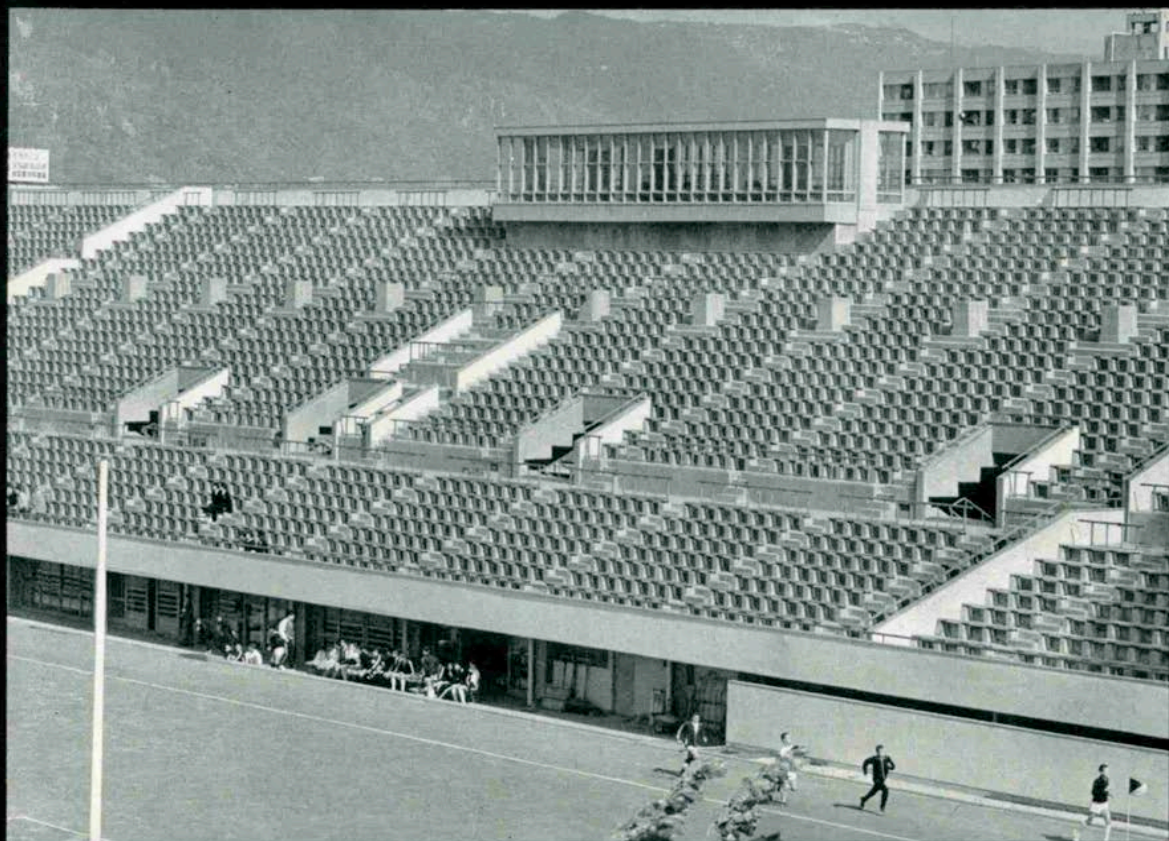
**長谷川** 小曽根さんの場合、ファッションにも気をつかわれると思うのですが……。

**小曽根** そうですね。人が着てないものを着る楽しみはありますね。私独自のものというか、私らしいものが必要だと思ふんです。その点、こういう伝統のある銘品になるとがん固なくらい自分の姿を守りますね。

**長谷川** そうなんです。守りとおせる、つまり現代にも通用するという点が、本物の本物たるゆえんですね。

—Fのトアロード玄関にもジョージ・ジェンセンコーナーを設け、手づくりの金銀製品や、陶器を置いております。大丸も増築してゆとりある、新しいまち“づくりにはげんでいるわけですが、ことしは本物の良さを追求していきたいと思っています。





戸景  
神百

カメラ  
小山 保

## みさき サッカーグラウンド

玉井 操

(玉井商船株社長)

私がサッカーを始めて55年になる。みさきサッカーグラウンドの出現は、この歴史の中で最大の喜びであった。美しい芝生のグラウンドはナイター設備も整え、外国のプロチームも称賛、全国の小中学生の申し込みも殺到している。

世に誇り得るみさきサッカーグラウンドはまた体力と精神力を養生し、共同生活の実体を競技から獲得させる活動的存在である。

私は第二、第三のサッカーグラウンドを計画しているが、これもこのみさきサッカーグラウンドの効果の余りにも大きな結果からである。





## ポートアイランド

伊勢田史郎

（詩人）

四突にはよく出かける。  
ビールを飲みながら碇泊中の  
外国船をぼんやり眺める  
ために。ダブルデッキ橋を  
わたってポートアイランド  
の東側コンテナ埠頭の辺り  
から眺める神戸の夜景も又  
すばらしい。船たちの灯と  
街の灯が幻想的な美しい諧  
調を奏でているのだ。広い  
道路の傍らで眠っている巨  
大なコンテナ積載車の群。  
出島の夜は静かだが何か緊  
迫した空気が漲っていて美  
しい。因に六甲山頂からの  
この島の昼  
の眺めは平  
板で、すす  
めたくない。

戸景  
神百<sup>2</sup>



## 湊川神社

荒尾親成

（元市立美術館館長）

江藤新平や大隈重信、さては伊藤博文といった明治元勳が奉獻した石灯籠がズラリと並び、明治五年春、神戸創建時の盛況を語りかけている。興味の深いのは当時まだ身分の低かった伊藤博文奉納の小さな石灯籠で、彼がのち内閣総理大臣に出世した時ヒイキの兵庫町人の誰れ彼れが寄つてたかって、元勳なみに背丈を高くしてやれとばかり土台をつくって江藤や大隈を見おろすようにしてあることで、その頃の彼と神戸人のつながりを知る上でも甚だおもしろい。

明治40年六歳で神戸へ移住してきた時、まっ先に軍人の父が私を人力車に乗せてここへお詣りに来た思い出がある。

## 戸景 神百<sup>3</sup>

かつて、元勳なみに背丈を高くしてやれとばかり土台をつくって江





## 白鶴美術館

青木重雄

〈白鶴美術館主事〉

六甲山溪  
から灘五郷  
を通過して大

戸景  
神百 4

阪湾へ注ぐ住吉川の上流西側に立つ青いいらかの寺院風の建物。これが中国古代の青銅器や陶磁器、銀器、日本の古代勾玉、古代切、経巻などで有名な白鶴美術館である。白鶴酒造の七代目として関西実業界で活躍、大茶人でもあった嘉納治兵衛翁の設立だが、これらのコレクションのうちには国宝二件、重文二十一件があり兵庫県下でいちばん文化財の多いことを誇っている。昨秋神戸市の文化環境保存第一号（候補）にも選ばれ、春秋の景観もすばらしい。





## さんちかタウン

小山乃里子

ラリアアナウンサー

スイーツタウンのモロゾフバーラーの兄ちゃんは、菅原洋一みたいな顔で、仕事終りましたか、ってコーヒー出してくれる。帽子屋で又のせられてカウボーイハット買った。ムラタで毛皮の上着も買った。だったので。お金が無くなったので本屋で立ち読み、広場の絵をみて、レコードどんなん売れてるのかなあてな顔してただ聴き、お米も無いのに又つけもの買って、あー、さんちかうつくと、あたしや破産しちゃうよお。

## 戸景 神百

5



## 新神戸駅

古林喜楽

（広島商科大学学長）

山ぶところに抱かれて、くつきり白く横長に浮かぶ新神戸駅、長い長いトンネルが中断されたとたんにパツと都心をのぞかせる新神戸駅。プラットから北に視線をはればまん前に峻嶒な山が天を突き、樹々が四季折り折りの色をあやなす。窓から下を伏し見れば滝から落つる谷川の水が清らかにせせらぎ、ハイカーの列が坂道をよじ登る南を振りむき、下界をのぞめば彼方に見ゆる三宮のビル街にノッポのセクタービルやタワーがニョッキと突き出ている。その向こうに一望の海が開け「あな

たと二人でなくても港の見える丘」を口ずさみたくなる、大都市の駅でこんなのは他にあるまい。

戸景  
神百 6